

昨日はマヤズム（ハーネマンのマヤズムと現代マヤズム）について学びました。
今月は、ケースを通じて、マヤズム傾向への理解もして行きます。

マヤズム傾向のキーワード

PSORA 痒みのある皮膚湿疹／欠乏・不足・機能低下・希望

SYCOSIS イボ、良性腫瘍、尿道分泌物／過剰・充溢・機能亢進・弱さを隠蔽

TUB 結核疾患・呼吸器疾患／活動過多・窒息感・変化への希求

CANCER 悪性腫瘍・癌的疾患／抑圧・完璧・自己コントロール

SYPHILIS 悪性疾患、潰瘍／逸脱・破壊・変性・絶望・自殺傾向

ご存知の通り CASE 学習の取り組み方の順序は、以下の通りです。

1. まず、CASE を一読して、ケースの①印象を書き留める。
2. 再読して、クライアントの特徴的な点（症状）をピックアップする。
3. ピックアップした特徴的な点の全体を眺める。
4. これらを元に、「前分析」を試みる。
- ②健康度（0～10）
- ③予後（良いレメディがある時／レメディがない時）は、どうなるか？
- ④救急性（急性か慢性か～救急性があれば、まずはそこから始める）
- ⑤治癒を妨げているものは？
- ⑥親和性（部位）
- ⑦マヤズム傾向（Psora Sycosis Syphilis Cancer TB 等）
- ⑧全体性（CASE での乱れはどこにあり、レメディはいくつ必要になるか？）
- ⑨バイタリティー
5. 本分析＝「何が癒されるべきか？」（病の中心 Wesen）をとらえる。
6. 「何が癒されるべきか？」から外れない症状を Rubrics として選び、Rep.する。
7. Rep.表の候補レメディから、ベストレメディを選ぶ。
8. 最終的には、ポテンシーとドーズを決めて、クライアントに提案する。

さて、CASE 学習では、この教室を出たら、決して、その内容について話すことなく、
守秘義務を守って下さい。

では、始めましょう。